

自己免疫疾患について

免疫反応とは？

免疫反応＝自己以外の体内への侵入による
悪影響を除外する体の反応

免疫反応

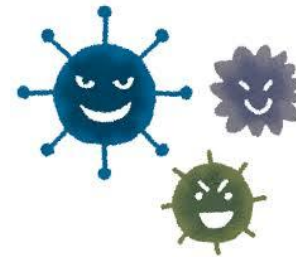
自分自身



VS

自分以外

(細菌、花粉、異物など自分以外)



自己免疫疾患とは？

自己免疫疾患： 本来自分以外を対象とする免疫反応
が自分を敵とみなして攻撃してくること

自己免疫疾患

自分自身



本来なら自分以外へ攻撃
する反応が自分へ向けて
攻撃される



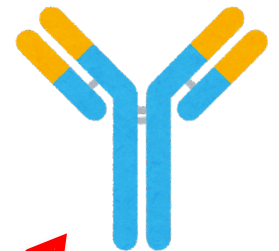
自己免疫疾患の原因

自己免疫疾患の原因



不明

自己免疫疾患の検査



アレルギー科などで血液検査をして『抗体』の様子などを調べることになります

自己免疫疾患の特色



自己免疫疾患には全身的な影響が

(1) 全身的な影響がでる全身性自己免疫疾患

(2) 一部の臓器だけが影響を受ける臓器特異型自己免疫疾患
という大きく2つに分けられます。

全身性自己免疫疾患による病気の例

全身性エリテマトーデス

多発性筋炎

皮膚筋炎

関節リウマチ

シェーグレン症候群

成人スティル病

臓器特異型自己免疫疾患による病気の例

ギラン・バレー症候群

重症筋無力症

自己免疫性肝炎

慢性円板状エリテマトーデス

天疱瘡(てんぽうそう)

円形脱毛症

原田病

自己免疫性視神経症

その他、色々な自己免疫疾患があります

自己免疫疾患の治療法

原則的には対症療法(症状を和らげる治療)
(原因が解明されていない以上、原因療法は行えない)



ステロイドを使用し、全身の免疫系の活性を抑制し自己免疫を抑えるという病気の原因に対するアプローチではなく、症状を抑えるという考え方になり、現時点では根本的な完治に至るケースは少ない状況です。

また、自分の免疫系を抑制するということは感染に対しても弱くなるということですので、それに対する注意も必要になります。

